

校名：鳴門教育大学附属幼稚園

所在地：〒770-0808 徳島市南前川町2丁目11-1 電話番号：088-652-2349

記載日：平成28年4月6日 記載者：佐々木 晃 記載者役職：園長

貴校の校風、おおまかな特色について：

幼稚園教育の目的の達成のため、次のような教育目標を掲げ、幼児の主体性を大切にした保育を進めている。

- ① 自主・自立・創造・感謝の精神の芽生えを養うこと。
- ② 健康でたくましい心身を養うこと。
- ③ それぞれのよさや違いを認め、育ち合う感性を養うこと。
- ④ 身近な環境に対する興味や思考力の芽生えを養うこと。
- ⑤ 喜んで話したり聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養うこと。
- ⑥ 創作的表現に対する興味や豊かな感性を養うこと。

貴校の卒業生の活躍状況について：

- ① 特に追跡調査はしていない。
- ② 同窓会などにおいて聞き取りをしている。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ① 追跡調査をしている。
- ② 研究業績や昇進などの情報は園が把握している。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて

- ① 本学幼年発達支援講座と連携して、「科学的思考を促す幼小接続教育課程の評価要素表—鳴門教育大学附属幼稚園方式—」を提案するなど、県内外の幼稚園・こども園、保育所などの研究や実践を支援している。

科学的思考が促されている姿に対する評価要素項目

遊具材が遊びを誘発するプロセスによって、幼児の具体的な姿が生み出されることが大切

A 発見と問題解決



① 好奇心・試行錯誤

- 美しいものや不思議なもの、未知のものなどに驚いたり、関心をもってかかっていたりしようとしたりする。
- 多様なものにかかわって、周囲の子どもたちや大人にたずねたり、自分で調べたり試したりしながら、試行錯誤する過程を楽しみ、そのものの特性に気付いたりする。
- 発見した喜びを味わったり、人に伝えたりして、意欲的に表現しようとする。
- 「なぜ、どうして」などと想像したり、自分のイメージで新しいものをつくり出そうとしたりする。

② 論理的に理由付けされた行動

- 季節や天候にあわせて服や道具を使いこなす。(帽子・手袋・上着・雨傘など)
- 使った遊具や用具を片付けるとき、正しい場所に置く。
- 遊びに必要なものをそれぞれの置き場所から取る。
- 最初と最後の様子や過去と現在の状態から、つながりや因果関係を考えたり予測したりする。
- 自然に触れる中で、ものの仕組みや法則に気付く。

B 言葉への関心

① 話すこと・聞くこと

- 人の話や絵本・図鑑、テレビや新聞などの情報から、自分の周りの出来事に関心をもつ。
- うなずいたり相づちを打ったりしながら相手の話を聞き、「なるほど」と納得したりする。
- 主述をはっきりさせて自分の意見を言う。
- 出来事やものの特徴を、かかわっているものやことと結びつけながら、自分の言葉で説明する。
- 比較や例を用いて話したり説明したりする。
- しりとり遊びやなぞなぞ遊び、カルタ遊びを楽しむ。
- 好きな絵本がいくつかあり、その内容について意欲的に話そうとする。
- 絵本を読んだ後やその日のミーティングなど、話し合いに参加する。
- トラブルが発生したとき、その理由を言葉で説明しようとする。

② 書くこと

- 書いてあることに注意を向けたり関心を示したりする。
- 自分の名前が分かり、平仮名で書ける。
- 書きたいと思い、文字や表示(ロゴ)などを見ながらまねて書く。
- 友達と一緒に、絵本や表現して遊べるものをつくらうことを楽しむ。(手紙・看板・メニュー・標識・切符・券・名札・カードなど)

C 数量と図形(平面・立体・空間)

① 概念的な見方や考え方や表現

○対象を比べる

・並べたり、重ねたり、入れ替えたりして、長さや大きさや強さや早さなどを比べたりしながら、ものの数(数量)を見つけ出す。
 長い—短い(長さ)／大きい—小さい(体積)／多い—少ない(容積)／重い—軽い(重量)／強い—弱い(強さ)／早い—遅い(時間)／速い—遅い(速さ)／冷たい—熱い(温度)など

・ものの形(図・形・空間)の違っている所(共通・相違点)に気付く。
 長い—短い(長さ)／高い—低い(高さ)／深い—浅い(深さ)／広い—狭い(面積)／丸い—角い(角度)など

○まとまりのある3つの群について、多少の区別をする。

(A>C>B)／(A=B=C)

○毎日の欠席調べや付加調べで、誰も該当する人がいないときに0人だという表現や、お皿のクッキーを食べてしまったときに、全部無くなった(0個)と言うような表現を用いる。(0の概念形成)

○人・個・本・枚など数詞を連って話す。

○～と比べて、～の方が、一番～など、関係を比較して表現する言葉を使う。

○今日の日付や曜日、現在の時刻を言ったり、時間や月日の順序を考えて話したりする。

D 協同的感性

① 協同的な言葉や表現

- 友達と一緒に歌ったり踊ったりして共鳴することを喜ぶ。
- 役割を分担したり、役に合わせた表現を工夫してごっこ遊びを楽しむ。
- 友達と活動の目的や目標などについて話し合う。
- 相手の意見と自分の意見の違いや共通点について気付く、話し合う。

② 人間を理解し関係を調整する力(項目)

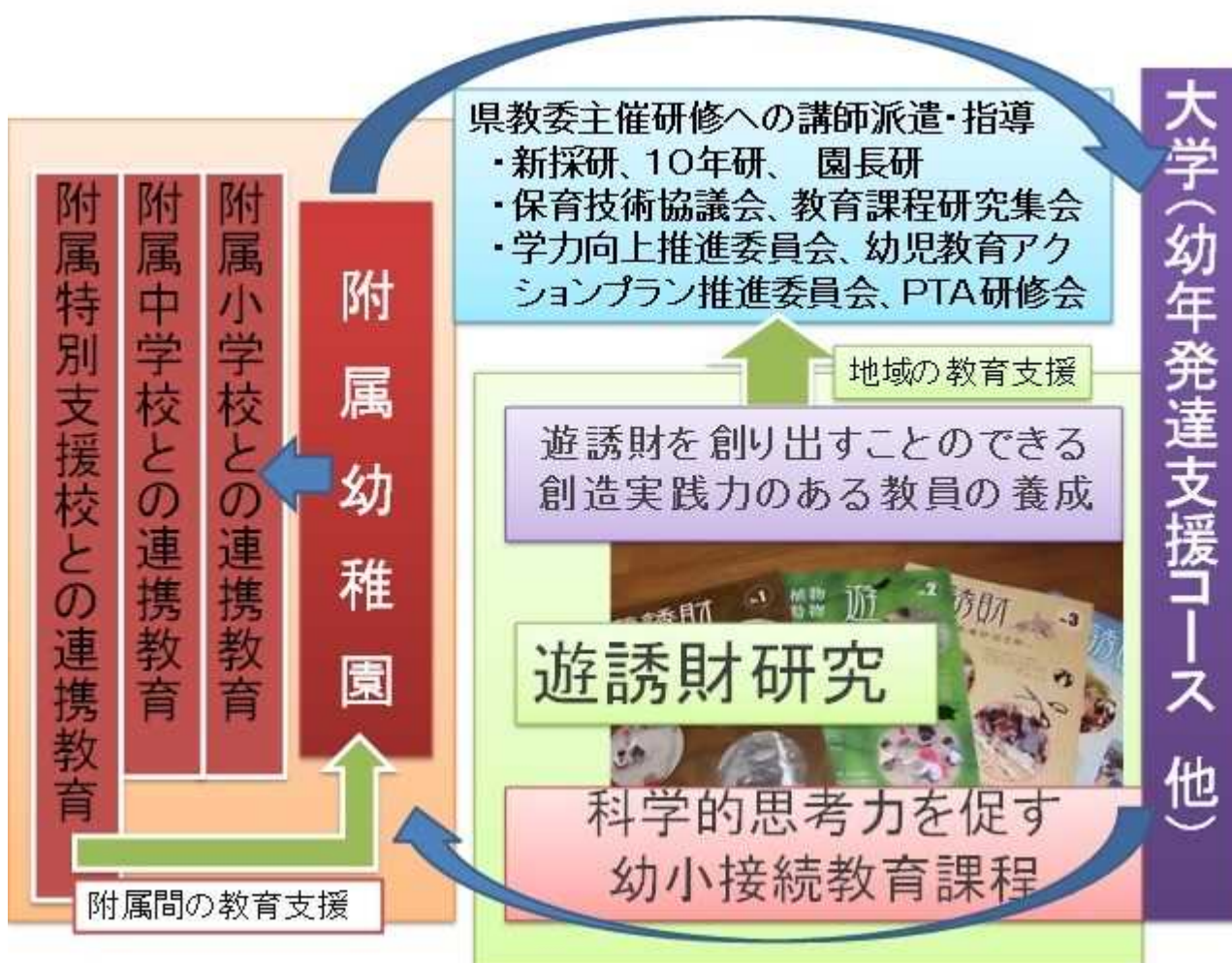
○異質なものの出会い

- ① 自分の思うようにならないことを体験する。
- ② 必要などきに、人に助けを求める。
- ③ 他者が「いや」という行為や事柄に関心をもち、
- ④ 自分がされて嫌なことには、そのことを態度や言葉で表現する。
- ⑤ 嫌なことを受け流したり、距離をおいて付き合ったりする。
- ⑥ 自分と異なる行動や意見に対して考えるゆとりをもつ。

○異質なものへの興味や関心

- ① 他者の行為や言葉に関心をもち、
- ② 他者の思い入れや思い入れのあるものに関心し、
- ③ 他者の言い分に真摯に耳を傾けて聞く。
- ④ 感情を含めた言葉や論理的な言葉で返えたり説明したりする。
- ⑤ 他者の行為の意味について想像力を働かせる。

- ② 科学的思考を促す非認知的能力や遊誘財の研究成果を依頼された講演会や実地指導で広めている。
- ③ 育キャリアステージによる保育の質向上のための方策を提案し、徳島県教育委員会主催の各研修会・講座での指導・助言を行っている。



地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか

県内外の研修支援、教員派遣、公開保育提供を行う役割を果たしている。平成27年度の実績としては、次のとおりである。

・園長が公益社団法人全国幼児教育研究協会徳島支部の支部長を務めた。今年度は第63回全国幼児教育研究会徳島大会を開催、園長が大会運営委員長を務めた。

・徳島県教育委員会主催の研修会への講師派遣

・県新規採用研修・新任園長研修会における指導

・平成26年度幼稚園新規採用教諭研修・保育技術協議会等、県教育委員会主催の研修会への講師派遣 ・教員の県内外研修会への講演講師の派遣（鳥取県教育委員会・高知県教育委員会・京都市私立幼稚園協会・滋賀県大津市・兵庫県たつの市並びに神埼郡 他）

・国立教育研究所プロジェクト研究「子どもたちの論理的な思考の育成にかかわる調査研究」協力

・文部科学省 幼保連携型認定こども園保育要領の策定等に関する調査研究協力

・他県からの研修受け入れ並びに実地指導

公立幼稚園・小学校・保育所（滋賀県大津市・奈良市・土佐市・姫路市 他）

私立幼稚園（高松大学附属高松東幼稚園）

・平成27年度幼児教育研究会の実施（参加者509名）

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について

次のように、国の幼児教育研究の先導的役割を果たしている。

① 国立教育研究所プロジェクト研究「幼小接続期の育ち・学びと幼児教育の質に関する調査研究」協力。

② 文部科学省 平成27年度「幼児教育の質向上に係る推進体制等の構築モデル調査研究」の委託を受け、「幼児の科学的思考を支える非認知的能力の発達の様相—好奇心・やりぬく力・協同的感性の視点から—」についての成果をまとめた。

